

エジプト観光大臣インタビュー：観光産業の見通し

- **中東地域全体の観光客数は18%減少したが、エジプトの観光客数は8.7%の減少にとどまった**

世界的な金融危機により、観光業界も他の業界同様ネガティブな影響を受けた。直近の世界の観光客数は8%減少し、中東地域も18%減少した。エジプトも2009年第一四半期の観光客数及び滞在日数は13%減少し、観光収入も18%減少した。しかし、第二四半期は改善し、2009年上半期では観光客数は8.7%減、滞在日数と観光収入は9.5%の減少にとどまった。

- **エジプト経済にとっての観光産業の重要性**

エジプトの観光産業は、金額ベースで110億ドル、GDPの11.3%を占める。また、観光産業に従事している雇用者数は総人口の12.6%を占めている。

2008年の観光客数は1,280万人に達し、政府目標の1,000万人を大幅に上回った。加えて、外貨収入(100ドル当たり)の19.3%を稼ぎ出す。

中東地域からの観光客数は全体の19%にすぎない。

エジプトのホテル客室数は現在211,000室あり、191,000室が建設中である。

観光省はマーケティング及びプロモーション費用として4,000万ドルを追加した。

- **エジプト観光産業に与える世界金融危機の影響**

2009年上半期の観光客数と滞在日数は、それぞれ8.7%、9.5%減少した。この影響により、雇用面にも影響が出始めている。一部のホテルでは雇用者数の30%に相当する臨時雇用者を解雇した。

観光収入の減少率は客室占有率の減少率を上回る速度で減少した。これは平均滞在日数と一人当たりの旅費の落ち込みが主な原因ある。

主要都市の客室占有率

地域	占有率
ハルガダ	80.0%
カイロ	78.0%
シャーム・エル・シェイク	78.0%
アレキサンドリア	69.0%
ルクソール	45.0%
ナイル・クルーズ	65.0%

- **エジプト観光産業の見通し**

エジプト観光大臣は、2011年には観光客数が1,400万人に達すると予想。また、新たな観光地の開発により、観光客数は引続き拡大すると予想している。主な開発地域は、ファイユーム(カイロから南西へ約100km、世界遺産の指定保護地域のオアシス)、ノース・コースト(リビア寄り地中海沿岸)、ラシッド(アレキサンドリアから東に約50kmの地中海沿岸)。

情報提供: アル・アラーム紙 2009年7月24日 (Ref. M09-121/RH/RT)

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。